

(様式2)

令和6年度 施策評価シート

1 施策の位置づけ

基本戦略	3. 安心して暮らし続けられる村をつくります
重点目標	7. 安心して暮らせる基盤整備
主要施策	7-2. 誰もが利用しやすい公共交通の充実を図ります

2 施策の評価

指標 (K P I)	単位	基準値	達成値					目標値	担当課
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
広丘線バス1便あたりの乗車人数	人/年	9.3	8.7	6.7	7.4	6.6	6.0	9.3	企画財政課
デマンドタクシーくるりん号1台あたりの乗車人数	人/年	11.5	10.1	9.9	9.6	7.9	8.2	11.8	

3 主な取組

1	公共交通網の充実	総合評価				
利用者のニーズを踏まえた公共交通網を整備するとともに、公共交通の利用促進を行う						B
事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化
134 公共交通運行経費補助金	企画財政課	5	維持	維持	B	
261 朝日村営買い物バス運行業務委託料	企画財政課	7	休止・廃止	皆減	C	
409 交通キャッシュレス決済運用事業	企画財政課	2	拡大	維持	B	

4-1 施策の評価・検証 (企画財政課)

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	朝日広丘線バス、朝日・波田線、デマンドタクシーに加え、くるりん号のセミデマンド方式やキャッシュレス決済導入等、新たな取組みが実証・検討された。継続してニーズに適した運行形態とダイヤの検討が必要である。また、買い物バスのセミデマンド形式への移行拡充の取組みが必要である。
事業の重点化	朝日広丘線バス、朝日・波田線、セミデマンド方式での運行について、利用状況に基づき改善を図る。買い物バスはくるりん号のセミデマンド形式による運行へのシフトにより、利用者の利便性を確保しつつ、廃止の方向で検討する。